



第38回 今を生きる子どもの絵展

永年保存作品制作者名簿 / 作品紹介



第38回-(令和6年度)-「今を生きる子どもの絵展」永年保存作品158点を展示します

第1期 日時：令和7年3月7日(金)～5月30日(金) 9:00～17:00 (最終入館 16:30)

※4月6日(日)までは無休、4月7日(月)からは平日のみの開催となります

会場：信濃教育博物館 (長野市旭町1098 信濃教育会館内)

第2期 日時：令和7年10月1日(水)～7日(火) 9:00～16:00

会場：信濃教育会生涯学習センター (安曇野市豊科高家796-3)

すべての子どもにとって、絵を描く時間は「楽しい」や「好き」が溢れる時間であってほしい。また、絵を描くことをとおして、新しい見方を発見したり、心の中で自由に想像し表現することの楽しさや喜びを知ったりしてほしいと願っています。

信州子ども絵画100年館『今を生きる子どもの絵展』に寄せられた作品は、見たり感動したり想像したりしたことが豊かな発想や技能で表現されています。まさに信州という地で“今を生きる”子どもたちが願いや思いを表現したかけがえのない作品です。

子どもの「楽しい」や「好き」、込められている願いや思いなど、子ども一人一人の“今”を読み解くようにご覧いただけたらと思います。

信州子ども絵画100年館本部委員会 委員長 徳高 博樹

令和6年度「今を生きる子どもの絵展」永年保存作品制作者名簿（158名）

小学校1年生

畑 日和 (小諸市・東小)	田中 優樹 (原小)	小池 陽介 (龍江小)	平野 太基 (芝沢小)
芹沢いちか (美南ガ丘小)	唐澤 悠人 (箕輪中部小)	塚原 千晴 (洗馬小)	佐々木絢士 (芝沢小)
春原 天翔 (坂の上小)	小澤 弘暉 (宮田小)	岡本 依茉 (三本柳小)	
柳澤 凜 (滋野小)	浅原 月乃 (中沢小)	権守 希皇 (小川小)	
荻原 理仁 (富士見小)	小木曾美桜 (豊丘北小)	鎌倉 葵 (裾花小)	

小学校2年生

橋本 幸虎 (浅科小)	吉田 颯太 (米沢小)	小山 和花 (青木島小)	要 葵大 (島内小)
野口 宗真 (小諸市・東小)	林 玲南 (川岸小)	大井 陽翔 (川中島小)	野村 洸太 (芝沢小)
青井 愛奈 (立科小)	田畑 蒼太 (富県小)	蒔田 悠介 (寺尾小)	小原 心帆 (芝沢小)
白澤 瑛茉 (北御牧小)	新井惇太郎 (龍江小)	高橋 依愛 (芹田小)	
青木 紋 (傍陽小)	白石 和博 (屋代小)	久米 胡桃 (青木島小)	

小学校3年生

山本ユキオ (神川小)	溝口 愛実 (山本小)	高山 実咲 (飯山市・東小)	北原 佳純 (篠ノ井東小)
寺澤 実佑 (泉野小)	川又 希衣 (生坂小)	北沢 愛梨 (三本柳小)	宮澤 聖蘭 (三本柳小)
鷺見 素世 (西箕輪小)	村松湖々那 (屋代小)	瀧澤 蓮 (信州新町小)	増尾 莞奈 (清水小)
中城 波瑠 (赤穂東小)	宮澤 初歌 (埴生小)	吉原 杏哉 (篠ノ井東小)	
松下 晴奈 (伊賀良小)	西條 花緒 (井上小)	北村 陽葵 (信里小)	

小学校4年生

渡邊 薫 (川上第一小)	中原 里桜 (武石小)	古川 奈樹 (伊賀良小)	田口和香奈 (古里小)
小須田彩紗 (北相木小)	加納 千尋 (上諏訪小)	上野 心音 (塩尻東小)	酒井 翔理 (清水小)
佐藤 輝依 (岸野小)	三浦 華菜 (豊平小)	西古 晴音 (小谷小)	新明 愛梨 (鎌田小)
木曾 晴基 (望月小)	佐藤 巧真 (諏訪市・豊田小)	坂井 颯 (埴生小)	
渡邊小茉莉 (長門小)	白鳥 晴香 (箕輪中部小)	笹倉 陽向 (長野市・吉田小)	

小学校5年生

河西柚珠葉 (佐久穂小)	羽場 凜音 (手良小)	北島 花 (篠ノ井西小)	大矢 実緒 (篠ノ井東小)
村上 愛紗 (北御牧小)	小澤 彩華 (喬木第一小)	山口 結禾 (緑ヶ丘小)	新谷 和南 (豊栄小)
小坂 真悠 (湊小)	加藤 茜 (豊科南小)	久米 慶心 (塩崎小)	野村 琉心 (菅野小)
五味 維吹 (富士見町・本郷小)	田中 千楠 (日滝小)	春原 杏南 (古里小)	
石原 杏那 (辰野東小)	池田 真理 (通明小)	永井 智菜 (松代小)	

小学校6年生

佐藤 祥太 (佐久城山小)	小林 咲菜 (永明小)	高木 さわ (生坂小)	清水 悠那 (古牧小)
柏木 陽花 (美南ガ丘小)	竹松 琉生 (富県小)	藤野 風花 (三郷小)	高島 心咲 (大豆島小)
三石 奈花 (軽井沢東部小)	瀧澤 彩良 (美篤小)	福島 花琉 (池田小)	齋藤 珠音 (旭町小)
武捨 光希 (長小)	原 奏恵 (高遠北小)	金子 結芽 (仁礼小)	
寺島 凜華 (永明小)	今井 志亜 (宮田小)	百瀬ひなた (古里小)	

中学校1年生

伊藤 里紗 (浅間中)	藤井 あみ (緑ヶ丘中)	須崎 琉星 (松川村・松川中)	荻原 輝 (長野ろう)
加藤 燈里 (塩田中)	遠山 陽彩 (鼎中)	小林くるみ (常盤中)	竹本 紗樹 (丸ノ内中)
平林 桃花 (諏訪西中)	吉村 香梅 (開田中)	中原 咲希 (川中島中)	宮坂 潤 (山辺中)
佐藤 杏菜 (伊那市・東部中)	小室 琉璃 (両小野中)	倉石 琉花 (櫻ヶ岡中)	奥原 安寿 (奈川中)

中学校2年生

今井 凜乃 (浅間中)	伊東 大樹 (永明中)	山戸 瑞木 (上松中)	網島 虹心 (丸ノ内中)
荒井 想来 (芦原中)	高田歩望瑠 (伊那市・東部中)	上原 有貴 (広陵中)	岩井 琉海 (鉢盛中)
小林ちひろ (東御市・東部中)	堀内 美邑 (伊那市・東部中)	和田 妃那 (更埴西中)	
小松 珂穂 (第二中)	米山 友美 (喬木中)	宮下ひまり (常盤中)	
伊藤 茜 (塩田中)	木下 結月 (飯田東中)	小山さくら (櫻ヶ岡中)	

中学校3年生

金澤 咲乃 (浅間中)	林 李夏 (赤穂中)	久保田 遼 (穂高西中)	出河 和穂 (広徳中)
一宮 桃子 (小諸東中)	田中 伶菜 (伊那中)	鎌田 夏実 (穂高西中)	半田実愛梨 (信濃小中)
宇佐美百花 (芦原中)	城村 よな (伊那市・東部中)	吉原 日彩 (大町中)	平林 由衣 (丸ノ内中)
熊井 美優 (塩田中)	細田 真彩 (大桑中)	山岸明架里 (墨坂中)	
矢澤 舞彩 (諏訪西中)	内藤 悠人 (塩尻西部中)	内山 優季 (篠ノ井西中)	

永年保存作品158点の中から各学年1点をご紹介します。

①いちばん描きたかったことは何ですか

(どんな場面に心が動いてこの絵を描いたのか)

②いちばん工夫(苦勞)したところはどこですか

評: 審査員の講評



「アサガオのうででねてきもちいいよ」

畑 日和 (小諸市立東小学校1年)

- ①すごく大きなアサガオがさきました。さわったらひらひらで気持ちよかったので、私はねてみたくなりました。
- ②おそとの太ようがキラキラしていたので、いろいろな色でぬりました。アサガオを大きくかくのがたいへんでした。

評 大きなアサガオに目をつむって寝ころび、気持ちよさが伝わってきます。花や葉、太陽と細かく形を捉え、色を重ねて丁寧に塗り込み、魅力のある作品になっています。

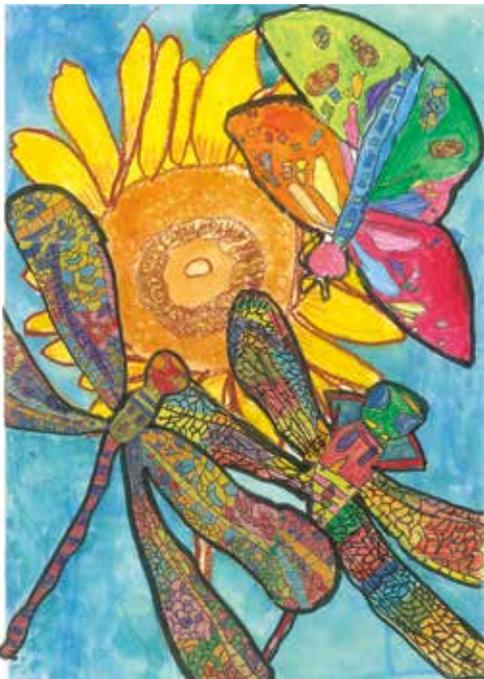


「楽しい楽しい ミニトマト公園」

白澤 瑛茉 (東御市立北御牧小学校2年)

- ①ミニトマトで遊びました。すべったりぶら下がったり、すごく楽しいです。葉っぱの上で跳びはねているのが私です。
- ②実がふくらんで見えるようにしました。赤から黄色に自然にグラデーションしていくように、黄色に赤を混ぜました。

評 一粒一粒のトマトを赤や黄色、黄緑を使いながら生き生きと描いた作品です。太陽に照らされたように輝くトマトの中で遊ぶ子どもたちもカラフルで、楽しさが伝わってきます。



「元気な風景!!」

村松 瑚々那 (千曲市立屋代小学校3年)

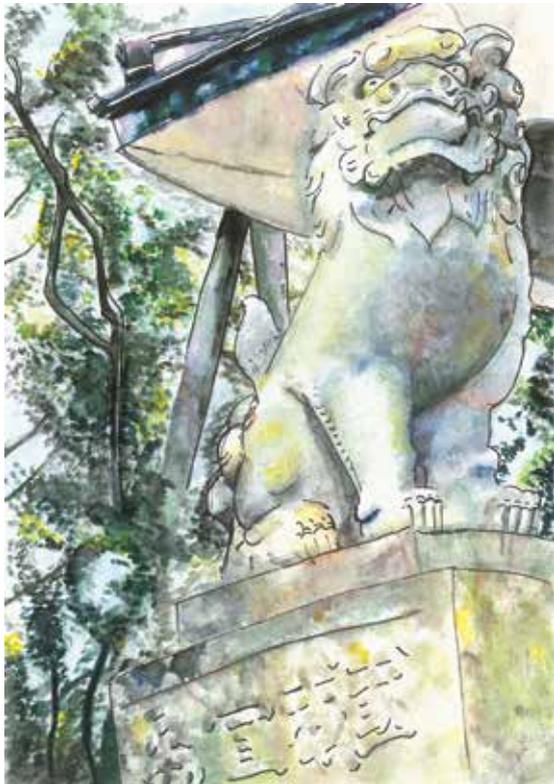
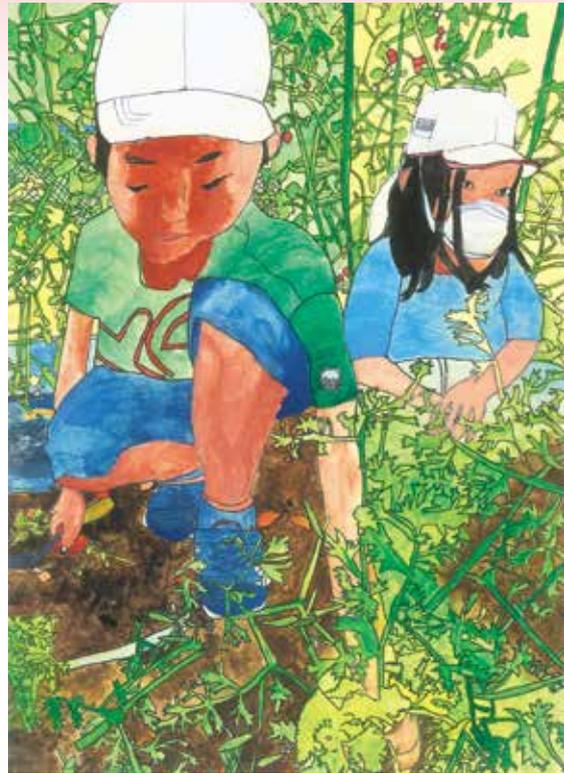
- ①理科でひまわりや虫の学習をしました。トンボやチョウの羽がとてもきれいで、丁寧に描いてみたくなりました。
- ②トンボの羽のあみ目模様がきれいに見えるように色のぬり方を工夫して、たくさん色を使ってぬりました。

評 目に飛び込んでくる元気なトンボたち。色彩の鮮やかさから生命の躍動が感じられます。たくさん色を使うことでトンボの羽のキラキラを追求して表現できています。

「にんじん ぬくぞ！」
 笹倉 陽向（長野市立吉田小学校4年）

- ①頑張って世話をしてきた畑のにんじんが大きく育って、うれしい気持ちと抜くときのワクワク感を描きました。
- ②複雑な形のにんじんの葉や、畑の草がたくさんあって、描くのが大変でした。細かい部分もよく見て描きました。

評 手前のにんじんに向かってぐっと伸ばした腕が画面に奥行きを与えています。人物の表情も絵の具の濃淡で陰影がつけられ「やるぞ!」という気持ちの表現に一役買っています。



「あたたかい光」
 田中 千楠（須坂市立日滝小学校5年）

- ①あたたかい光を正面からやさしく受けとめている、お母さんのようなこま犬の印象そのままを表現したことです。
- ②こま犬を堂々と前に出したかったので、かげと光にメリハリをつけたところと、いろんな色をにじませました。

評 いくつもの色を重ね、にじませて描いた狛犬の深い色づかいに驚かされます。建物の向こうの木々から降り注ぐ木漏れ日のまぶしさを感じられる作品となっています。

「思い出の玄関」
 武捨 光希（上田市立長小学校6年）

- ① 6年間、ほぼ毎日通った学校の玄関を思い出の詰まったランドセルと一緒に描きました。
- ② タイルを1枚1枚、色の濃さや、影の付け方を考えながら塗りました。特に、影の部分の色味を工夫しました。

評 石畳のニュアンスカラーや遠近感が美しく、どっしりとした黒いランドセルの存在感とともに、お互いを引き立て合っています。細部まで丁寧に描かれ、大切な思いが伝わってきます。





「小人の視点」

加藤 燈里（上田市立塩田中学校1年）

- ①いつも見ている景色だけど、視点を変えただけで全く別の景色に見えるという面白さを感じこの絵を描きました。
- ②下駄箱を描くときに遠近法を使い、奥行きや臨場感ができるようにしました。また、光と影の対比も描きました。

評 日頃見る視点とは異なり、小人になりきって床から見上げた世界が新鮮です。手前の下駄箱内の暗さと遠くのガラスドアから抜けていく明るい世界とのコントラストが広がりを感じさせます。

「呼吸する中庭」

網島 虹心（松本市立丸ノ内中学校2年）

- ① 休み時間、中庭に出ると心地よい風、その下で青々しく生長する植物たちに心惹かれ描きました。
- ② 校舎の窓に映っている空や雲を表現することや、植物がもつ個性豊かな緑色を絵の具で作出したところです。

評 お気に入りの中庭で植物たちの生長する姿を見守っている作者の心情が感じられます。植物たちの息づかいと爽やかな季節感が伝わってきます。



「私の一部」

細田 真彩（大桑村立大桑中学校3年）

- ①どんなときも私の救いになってくれた音楽と、このヘッドフォンへの感謝から、この絵を描きました。
- ②明暗の差をはっきりさせることで、かたく、光沢のある質感の表現を工夫しました。

評 高いデッサン力で、ヘッドホンの形や陰影を的確に捉えて描かれています。また机上の木目模様まで表現されており、見応えのある作品になっています。



中央審査を終えて

● 小学校1・2年生 本部委員 西澤しのぶ（長野市立吉田小学校）

トンボ、鳥、カメ、魚、ヤギ、ザリガニ、クジャク、カタツムリ、ノコギリクワガタなどの生き物や、アサガオ、ミニトマト、サツマイモなどの植物の題材が多く見られました。

低学年の子ども達は、生き物が大好きです。生き物を見た、触れた感動が、低学年らしい線や形、そして色合いで画面いっぱいに表現されていました。また、生活科の時間に育てた思い入れのある植物に自分の空想の世界を重ね、嬉しさや楽しさを表現していました。

スクラッチ、スタンプング、貼り絵などの技法だけでなく、力強いクレヨンのタッチや、まだ慣れない絵の具での丁寧な色塗りも素晴らしかったです。どの作品も表情豊かで、低学年らしい心の動きが感じられる表現に心打たれました。



● 小学校3・4年生 本部委員 青木 香織（川中島中学校）

小学校3・4年の作品は、どの作品にも生き生きとした生き物が描かれていました。トンボの羽一枚一枚をたくさんで塗り分けた作品は、羽に反射する様々な色の光を表現したかったのではないのでしょうか。動植物に対する作者の思いが伝わる作品が多く、一つ一つ作品の意味を考えながら鑑賞する時間は有意義なものでした。3・4年生にしか出せない力強い線があり、ふとした時の表情が魅力的に描かれていました。コラージュや画材の重ね合わせが多用されていて、作品の完成度を高めていたように思います。

● 小学校5・6年生 本部委員 長崎 至宏（古里小学校）

これまでの図工で培ってきた、自分なりのものの見方や表し方を最大限に駆使しながら、本当に表したいものを表している、そんな様子が見える作品ばかりでした。特に今回感じたのは、風景や静物を描いた作品の画面の入れ方、つまり構図の工夫のよさです。これはきっと、授業の中でICT 機器やタブレットを使いこなして構図を吟味したのだろうな、と想像しました。小さな画面から飛び出すほどの世界の広がり、筆のタッチや絵の具の置き方などとともに、作者自身の充実した学校生活を表しているようでした。

● 中学校1・2・3年生 本部委員 久保田充徳（広徳中学校）

さすが中学生。どの学年も、豊かな想像力と確かな技能を感じ、作者の気持ちがしっかりと伝わる作品ばかりでした。写実的な作品は、細部まで丁寧にしっかりと描かれ、大変に見応えがありました。また、単に写実でとどまることなく、見る視点を下げたり、斜めに構成するなど構図を工夫して表現した作品もありました。そして中には、この作品を描ききるのにどれだけの時間を要したのか、そして描き終えた後にどれだけの達成感があったのだろうか、と思わせる見事な作品もありました。審査の間ずっと中学生の高い表現力に圧倒され、心を奪われました。

子ども絵画を授業で活用しませんか？

博物館に収蔵されている作品の貸出しを行っています。

目的にあった作品をお選びいただき、写生会や授業の参考資料にお役立てください。



お問い合わせ先
信濃教育博物館 TEL 026-235-1608 FAX 026-232-1892